

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	楊 潔 (よう けつ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 博士課程 5 年生
発表年月 または事業開催年月	2024 年 11 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本知能情報ファジィ学会の学会誌：『知能と情報』
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	楊 潔, 菊池 浩史, 菊池 英明
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	雑談音声対話システムによる繰返し発話の多様性がユーザの共感と対話継続欲求に与える効果
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>大規模言語モデルの登場により、ユーザの対話システムへの対話意欲の課題が解消されつつあるが、まだ十分とはいえない。ユーザの対話意欲を向上させるためには、対話システムによる共感的応答が有効であるとされている。また、繰返し発話には共感を示す機能があり、ユーザの対話意欲の向上に影響を与えると示唆されている。そこで、本研究では共感機能を持つ繰返し発話に着目し、対話ロボットによる繰返し発話の多様性がユーザの対話継続欲求に与える効果を検証する。GPT-4 をベースに、繰返し発話を自動生成する雑談音声対話ロボットを構築し、対話実験を行った。その結果、ロボット行動特性不安感が強い被験者ほど、多様性の十分に高い繰返し発話を生成する対話ロボットに対する、被験者の知覚された共感及び対話継続欲求の評価が有意に高いことが確認できた。</p> <p>(PDF を別添)</p> <p>URL: https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsoft/36/4/36_713/_pdf/-char/ja</p>	

※無断転載禁止